

【教育目標】 英知の風かおり 友愛の情ふかく 精励の志つねに



中野だより

令和2年 10月23日 発行 第28号 発行者:中野区立中野中学校

柿にちなんだ昔話

1895年10月26日、俳人正岡子規は奈良旅の途上で法隆寺に立ち寄る。近くの茶店で一服して柿を食べていたら法隆寺の鐘が鳴った。鐘の響きに秋を感じた子規は、「柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺」の名句を詠んだ（とされている）。そんなことから10月26日は柿の日となった（といわれている）。

今回は柿にちなんだ昔話をしたい。



それはドラえもののTV放映が始まり、小松左京作「日本沈没」がベストセラーとなり、オイルショックやトイレットペーパー買い占めが起こった年の秋の出来事である。

校内駅伝大会のクラス代表メンバーに選ばれた我々4人は、大会を翌週に控えた土曜日の午後、全校優勝をめざして「自主練習」を行った。最初は小高い丘の上にある中学校をスタートして順調に駅伝コースを走っていたが、3キロほどの地点で力尽き、近くを流れる川のほとりで休憩をした。水中で悠々と泳ぐヤマメやウグイの姿を目にした4人は自主練習中であることをすっかり忘れ、川に入って「漁」に夢中になった。しかし、魚たちの素早い動きに翻弄され、為す術もなく魚たちからかわれ放題。拳句には仲間のKが川で足を滑らせて転倒し、下半身びしょ濡れになった。他の3人は大笑いしつつ「漁」を諦め、Kの濡れたジャージが乾くまで石投げ（水切り）をして遊んだ。

川での「自主練習」を終え学校に戻る道すがら、4人の目に入ったのは民家の軒先でたわわに実をつけている柿の木だった。柿の実には秋の陽光を浴び、神々しいばかりに輝いていた。Kは其中で特においしいような柿の実を失敬し、思いっきりかじった。その瞬間、Kに悲劇が起こった。Kは「ペっ！ペっ！」とかじった柿を吐き捨て、涙目になった。それは強烈な渋柿だった。他の3人は再び大笑いし、よせばいいのに「そんなに渋いのか？」と言い、Kの食べた柿を順番にかじった。そして、Kと同じように「ペっ！ペっ！」と口にしたら柿を吐き捨て、「これは食えないわ！」と悲劇を共有した。穏やかで太陽の光がまぶしい秋の午後だった。

結局、翌週の駅伝大会は自主練習の甲斐もなく散々な結果に終わった。

それから5カ月が過ぎ、4人は中学を卒業し別々の高校に進学した。その後4人は愉快適悦と艱難辛苦を重ねながら各々の人生を歩んでいたが、40歳半ばころから年に2～3回程度不定期な「例会」を開催し、中学時代の思い出と老後の生活に花を咲かせるようになった。数年前の「例会」では駅伝大会のことが話題になり、「俺は一生懸命走ったのだが、足を引っぱる奴がいてね・・・」などと言いながら、いつも以上に盛り上がった。その例会も今年はコロナの影響で開催できていない。

コロナの影響は言うまでもなく学校にも及んでいる。27日からの運動会もその一つだ。密を避けての規模縮小、時間短縮、保護者観戦なしでの学年開催という前例にない形で行われる。しかしこれまでの練習の様子を見ていると、中野中生がコロナ禍による様々な影響や制約を新たな力に変え、年に1度の、或いは中学校最後の運動会を最高に盛り上げ、楽しもうという思いが伝わってくるのである。雨で練習ができない日が続いたことを悲しみ、練習日を増やして欲しいと訴えてきた生徒もいたほどだ。そんな中野中生のたくさんの思いが詰まった運動会では、中野中生が最後まであきらめずに、全力を尽くし、さわやかな汗を流し、クラスや学年が一つになる光景を見ることができるであろう。

ところで、運動会では順位を競うが、仮に1位になれなくても、運動会を最高に楽しんだ人、仲間を懸命に応援した人、対戦相手に温かな拍手をおくれた人も勝者だと思っている。そして、10年後、20年後も素敵な思い出として仲間と語り合える運動会にできた人こそが真の勝者だと思う。

散々な結果に終わったあの駅伝大会も、真の勝者は「我々」だったかもしれない(笑)



1年生の準備運動

オープンキャンパス行われる

9月24日(木)午後、桃園第二小学校、桃花小学校、平和の森小学校の6年生児童179名を迎えオープンキャンパスが行われました。

当日は期末考査期間中で中野中生が不在の中、6年児童は中野中の授業体験や校内見学を行い、学校説明を受け部活動動画を視聴しました。オープンキャンパスによって6年児童の中学校生活への理解が進んだようです。

以下、6年生の感想のいくつかを紹介します。

< 感想 >

○他校の子たちと一緒にやるのが不安だったが、楽しく授業ができてあっという間でした。姉も中野中に通っていたので、姉と中野中の良い所をたくさん話せて、中野中に行きたい！という気持ちが強くなりました。

○授業では先生たちにすごく優しくていねいに教えてもらえて嬉しかったです。もともと中野中に入る予定だったけど、今回のオープンキャンパスでますます中野中に入ろうという気持ちがわきました。

○学校がとてもきれいで、図書室も広く、とても明るい学校だと思いました。授業体験でスライムを作ったときも、先生が分かりやすく説明してくれて、楽しかったです。中学生になるのがとても楽しみになり、早く



英語の体験授業



社会の体験授業



音楽の体験授業

中野中に入学したくなりました。

○中学校は厳しいイメージがありましたが、実際に授業を受けたらそんなことなく、むしろ楽しかったです。より一層中野中学校に行きたくなりました。

○オープンキャンパスでは中野中学校のいい所がたくさん見つかり、中学校に行くのが楽しみになりました。数学の授業体験はとても面白かったです。部活動も動画などを見て良さが伝わってきました。中野中学校はとてもいい学校だなと改めて思いました。

○いろいろな部活などのことが分かり、中学校生活に興味を持てたからよかった。中学生たちが下校している時、とても楽しそうにしていました。



校内見学

新生徒会役員決定！

10月6日(火)、生徒会役員選挙の立会演説会(オンライン)及び投票が行われ、即日開票の結果7名の新役員が誕生しました。

これまで生徒会役員として中野中をリードしてくれた小林会長以下7名の前役員の功績と尽力に感謝するとともに、新役員7名の活躍に期待します。

会 長 鈴木 美利 (2-B)

副会長 古屋 瞳 (2-B)

総 務 下山 建雅 (2-B)

和久田 輝 (2-B)

近藤 博仁 (1-B)

川越 優希 (1-C)

本橋明日香 (1-C)



登校時の選挙活動



オンラインでの立会演説会

前期終業式・後期始業式

10月9日(金)に前期終業式、12日(月)に後期始業式がオンラインで行われました。

校長講話では終業式で「コップ半分の水の理論」、始業式でミレーの絵画「落穂拾い」について話をしました。

写真は、3年生が体育館に集合しオンラインで前期終業式に参加している様子です。スクリーンには半分の水が入っているコップが映し出されています。



未来のなかの作品展

中野区内の児童・生徒が学校を代表して「未来の中野のまちの姿」をテーマに描いた作品の展示会が下記の通り行われています。

中野中は美術部が部活動で制作した作品を出展をしました。

是非、会場に足を運んでみてください。

○ 期 間

10月23日(金)～11月3日(火)

○ 会 場

キリンレモンスポーツセンター



中野中の出展作品

道徳授業地区公開講座

～オンラインで実施～

10月24日(土)は道徳授業地区公開講座を実施します。とは言っても、コロナの影響で保護者や地域の方々の参観は叶いませんが、道徳授業の様子をオンラインで各家庭に配信いたします。

また、当日の午後、保護者会が実施されます。道徳授業や動画配信に関してご意見やご感想をいただければ幸いです。

なお、当日の道徳授業の資料をGoogle Classroomの「学活」に格納します。ご覧いただければ幸いです。



今週は、中野中の人権週間です。

写真は昨日の某クラスの道徳授業の様子です。

全学年が人権をテーマに同じ内容(LGBT)の動画を視聴しました。

< 表 彰 >

○中野区中学校ソフトテニス新人大会

団体の部 優勝

個人の部 3位(高時 謡、山崎 理央ペア)

3位(伊藤 菜々美、平野 月那ペア)

おめでとうございます!